

あしたも えがおで



～#もっと!まつよう～ まつよう校長だより 2025.1.28 NO. 8



新しい年を迎え、3学期がスタートしました。2025年は巳年です。「巳（み）」という文字には、「成長が成熟し、次のステージに向かう準備が整った」という意味が込められています。蛇は脱皮を繰り返しながら成長する生き物であることから、「再生」「変化」を象徴すると言われていています。子どもたちは、3学期のまとめの学習に取り組んでいます。卒業や進級に向けて心も成長していることを実感します。子どもたちがさらなる変化（成長）を遂げることができるよう、学校、家庭、地域でスクラムを組み伴走していきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長室が「まつよう神社」になりました

1月の中旬、校長室の入り口に赤い鳥居が設置されました。そして、校長室は、賽銭箱や鈴、絵馬、おみくじなど、次々とセッティングされていき、「まつよう神社」が見事に出来上がりました。これは、小学部2年生の「遊びの指導」の授業準備です。

授業当日、子どもたちは興味津々の面持ちで「まつよう神社」にやってきました。巫女に扮した教員と一緒に手を打ってお参りをし、絵馬に書いた願い事や目当てを嬉しそうに教えてくれました。

「遊びの指導」は、遊びを学習活動の中心に据えた授業です。子どもの発達のだん筋や遊びのプロセスを踏まえ、それに即した活動ができる「環境」を準備をすることは、知的障がい教育の専門性の一つです。「遊びの指導」の授業づくりには、多くの時間とエネルギーを要します。学年部で何度も協議を重ね、共通理解を図り、共通実践へと取り組んでいきます。授業づくりを通して、教員のチーム力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが、知的障がい教育の専門性を継承することに直結していると感じました。



鳥居をくぐって入ります



鈴を鳴らして願ひます



たくさんの絵馬が並びました